

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」重点目標（実績）

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 （アウトカム）	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 （事業における成果、課題、改善点等）
①学校運営上 の課題	02 社会に開 かれた教育課 程への対応	地域住民等と目標やビジョンを 共有し、地域と一体となって子 どもたちを育てる必要性があ る。	地域学校委員会（学校運営協議会）を開催 し、関係者、学校支援ボランティアと連携し ながら、よりよい教育活動の模索、推進を 行う。また、「教育を考える会」を開催し、地 域の次世代育成を図る。	各学校で実情に合わせ地域学校委員会を 開催しているが、学校で開催回数にばらつ きがある状況。	教育力の活性化と地域の次世 代育成	地域学校委員会の 開催回数※及び「教 育を考える会」の実 施（小学校のみ・年 間1回）	3～5	回	3～5	4.5 回	03 本 年度 の目 標値を 達成 し、課 題の改 善が 見ら れた 各学校とも地域学校委員会を3～4回開催し、地域連携を推 進した。教育を考える会（小学校のみ）を全校が実施し、地 域の教育について情報交換等を行った。 児童生徒の地域行事への参加を促す取り組みとして、今年 度も小中学生リーダー会議において、児童生徒自身が地域 との関わり、校区のよさを意識して、今後地域貢献する取り 組みを考え実施するよう話し合いを行った。学校と地域の連 携や地域行事の周知方法など工夫をしていく。
②学校と地域 の課題	05 その他	経済的な理由や家庭の事情 で、家庭での学習が困難で あったり、学習習慣が十分に身 についていない中学生を対象 に、学習支援を行う。	生徒の実情に合わせた開催日時等を設定 し、年間30回程度の開催を目指す。	地域未来塾を年間25～35回程度の計画で あり、ほぼ毎週実施しているが、天候等の 状況により、中止した場合もあった。	5教科（国語、社会、数学、理 科、英語）を中心とした基礎基本 の定着と応用問題への実践力 の向上。	塾の実施回数	25～ 30	回	35	27回 /教室	03 本 年度 の目 標値を 達成 し、課 題の改 善が 見ら れた 「倉吉地域未来塾」では、家庭での学習が困難であったり、 学習習慣が身についていなかったりする中学生を対象に、 教員経験者・地域住民等が個別指導や自習補助等を行い、 生徒一人ひとりが進路実現のための力を付けられるよう支 援を行った。天候不良（大雪）のため、2教室で各1回中止し た。指導者の数や開催場所の確保の問題で、全ての希望者 のニーズに応えられていない状況があり、今年度も大学生・ 短期大学生の応募がなかったことから、来年度に向け、市 内の大学・短大への働きかけを行い、年齢の近い学生から 学ぶことで学習意欲向上につなげる。
②学校と地域 の課題	02 青少年の 健全育成	各地区の事業数はコロナ禍前 に戻り、参加者も増えている が、子どもたちの社会性・自主 性・創造性等の豊かな人間性 を育む取り組みが必要である。	・活動の中で、様々な異世代交流する機会 を増やし、多くの地域住民と関われるような 活動内容を取り入れる。 ・地域で多様な体験活動ができる環境を創 出する。	・自然体験や地域の特色・人材を活用した 事業（しめ縄作り、伝承教室、川遊び） ・異年齢での集団生活をしながら通学し、地 域の大人の指導のもと家事を行い、自主性 や協調性を養う通学合宿を実施	・様々な体験や活動の実施が増 えることで地域住民との交流の 機会が増加する。 ・参加する児童生徒と地域住民 との繋がりが深まる。 ・子どもたちの地域への理解・関 心が深まる。	・放課後子ども教室 事業の参加者数と地 域住民等参画者の 合計人数	3000	人	3300	4900	03 本 年度 の目 標値を 達成 し、課 題の改 善が 見ら れた ・様々な体験活動に多くの児童や地域の方の参画があり、目標は達成した ものの参画者の固定化が懸念される。一部、生徒の参画を応援すること で地域住民との交流・つながりが深まり参画者増と新たな活動につながって いる地域もあった。 ・事業実施の周知方法を工夫しながら地域住民を幅広く巻き込んだ取り組 みを推進していく必要がある。 ・通学合宿では、集団生活の中で主体性や協調性が育まれ、また、子ども 主体で行った貴重な体験をしたことにより、日常生活において、その経験が 活かされたという報告もあり事業の成果が見受けられた。 ・様々な活動後のアンケートからは「色々な人と話すことが出来て良かつ た。」など地域の方々とつながりの面で成果があった。